

第42回

置賜建設株式会社安全大会

平成30年 6月30日

☆ 平成30年度 スローガン

(厚労省平成30年度全国安全週間スローガンより)

『新たな視点でみつめる職場 創意と工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災』

※ 全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度の中断されることなく続けられ、今年で91回目を迎える。

この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきた。この努力により労働災害は長期的に減少しているが、平成29年度の労働災害については、死亡災害が3年ぶり、休業4日以上死傷大害が2年連続で、前年を上回る見込みである。しかしながら、休業4日以上死傷災害が2年連続で、前年を上回る見込みである。また、第13次労働災害防止計画が平成30年度を初年度として新たに展開されることを踏まえ、働く一人一人がかけがえのない存在であり、各事業場で一人の被災者も出さないという基本理念の下、日々の仕事が安全なものとなるよう、不断の努力が必要である。

☆ 平成30年度 安全管理目標

- 危険に対する感性を高め 守るべき決め事を遵守し
達成しようゼロ災害

☆ 平成30年度 衛生管理目標

- 健康管理・維持の促進

☆ 平成30年度 交通安全年間スローガン

(財)全日本交通安全協会平成30年度交通安全年間スローガンより)

- 運転者向け
ぶつかるよ ながら運転 じこのもと
- 歩行者・自転車利用者向け
行けるはず まだ渡れるは もう危険
- 子供向け
自転車は 車といっしょ 左側

平成30年度 山形県交通安全県民運動実施スローガン

『よく見て 確認 ゆとり行動』

置賜建設株式会社
安全衛生委員会

安全の誓い

現代社会の中にあつては、労働災害防止は当然のことながら職場環境の整備や心の健康の確保と、誰もが仕事と生活の調和が取れた働き方ができる社会や企業が求められています。

事業場では、労使が協調して労働災害防止対策を展開してきた結果、長期的に死亡災害は減少しているが、平成 29 年の労働災害については、死亡災害が 3 年ぶり、休業 4 日以上之死傷災害が 2 年連続で前年を上回る見込みである。

また、第 13 次労働災害防止計画が平成 30 年度から新たに展開されることを踏まえ、働く方一人一人がかけがえのない存在であり、各事業所で一人の被災者も出さないという基本理念の下、日々の仕事が安全なものとなるよう、不断の努力が必要である。

このような労働環境の中でも、安全で安心して働くことができる職場を目指し、同じ職場にいる労働者全員で早期に危険要因を発見・改善・見える化し事故の発生を未然に防ぎ、常に健康で快適に働ける職場を目指さなければなりません。今大会を契機に、次のことを重点実施事項として活動いたします。

- 一、 守るべき決め事の周知と遵守
- 一、 墜落・転落・転倒事故の防止
- 一、 重大事故につながる事故原因の防止
- 一、 作業者の安全意識の高揚
- 一、 健康経営の実践
- 一、 毎日の体調確認

以上、健康で安心して働くことのできる快適職場の形成に向けてまい進することを誓います。

平成 30 年 6 月 30 日

第 42 回 置賜建設株式会社安全大会